平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名　森永製菓株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2201　URL　http://www.morinaga.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 矢田　雅之
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長　(氏名) 杉浦　俊明　TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	110,734	△8.9	2,421	△57.4	2,801	△53.0	1,273	△57.4
23年3月期第3四半期	121,494	△1.7	5,688	14.3	5,955	14.5	2,989	△2.7

(注) 包括利益　24年3月期第3四半期　1,942百万円　(△13.6%)　23年3月期第3四半期　2,247百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.88	―
23年3月期第3四半期	11.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	128,494	52,174	40.3
23年3月期	127,045	51,845	40.4

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　51,831百万円　23年3月期　51,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,500	△3.7	4,800	△27.9	5,000	△27.3	2,700	10.2	10.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	270,948,848 株	23年3月期	270,948,848 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	10,194,617 株	23年3月期	10,171,605 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	260,765,238 株	23年3月期3Q	261,141,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○ 添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報…… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項…… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4
（４）追加情報…… 4
３．四半期連結財務諸表…… 5
（１）四半期連結貸借対照表…… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間…… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間…… 8
（３）継続企業の前提に関する注記…… 9
（４）セグメント情報等…… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が第３四半期連結会計期間で前年同期実績を上回りましたが、東日本大震災による影響や消費マインドの低下等により前年同期実績を下回った第２四半期連結累計期間の減収を補えず、さらに株式譲渡した連結子会社２社の売上高が減少したことにより、全体では1,107億３千４百万円と前年同期実績に比べ107億６千万円（8.9%）の減収となりました。

また損益面では、第３四半期連結会計期間で増収となりましたが、原価率アップやマーケティングコストの増加により営業利益、経常利益は共に減益となり、第３四半期連結累計期間でも営業利益は前年同期実績に比べ32億６千７百万円（57.4%）減益の24億２千１百万円、経常利益も前年同期実績に比べ31億５千４百万円（53.0%）減益の28億１百万円となりました。また、四半期純利益につきましては特別利益に関係会社株式売却益を計上しましたが、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことにより、12億７千３百万円と前年同期実績に比べ17億１千６百万円（57.4%）の減益となりました。

セグメントの第３四半期連結累計期間業績は、次のとおりであります。

＜食料品製造事業＞

菓子部門

主力ブランドの「チョコボール」や「小枝」は東日本大震災による供給不足が影響して前年同期実績を下回り、また、「ミルクキャラメル」「おっとっと」は前年同期実績を若干下回りました。一方、「森永ビスケット」「ダース」は新商品の売上が寄与したこともあり好調に推移し、「ハイチュウ」は前年同期実績を上回りました。主力ブランド全体が前年同期実績を上回りましたが、菓子部門全体の売上高は前年同期実績並みとなりました。

食品部門

主力ブランドの「ミルクココア」が前年同期実績を下回りましたがココア全体では前年同期実績並みとなり、「甘酒」他の商品が好調に推移したことで、食品部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」や「アイスボックス」が広告効果もあり前年同期実績を上回りましたが、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績並みとなりました。

健康部門

「天使の健康」シリーズの通販事業が「おいしいコラーゲンドリンク」を中心に好調に推移しました。一方、主力ブランドの「ウイダーｉｎゼリー」が、東日本大震災の影響により商品数の絞込みを余儀なくされたこと等により前年同期実績を大幅に下回り、健康部門全体の売上高は前年同期実績を下回りました。

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は1,013億４千９百万円と前年同期実績に比べ2.6%減となりました。セグメント利益は18億２千６百万円と前年同期実績に比べ27億８千７百万円の減益となりました。

＜食料卸売及び飲食店事業＞

売上高は、連結子会社２社を株式譲渡したことにより前年同期実績を大幅に下回り、事業全体で66億３千７百万円と前年同期実績に比べ54.5%減となりました。セグメント利益は２億２千６百万円と前年同期実績に比べて１億８千５百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、ゴルフ事業が前年同期実績を下回り、事業全体で22億８千４百万円と前年同期実績に比べ3.5%減となりました。セグメント利益は７億６千５百万円と前年同期実績に比べ６千７百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高４億６千３百万円、セグメント利益１億２千７百万円であります。

（２） 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間における総資産の残高は1,284億９千４百万円となり、前連結会計年度に比べ14億４千９百万円増加しております。主な要因は、流動資産の現金及び預金の減少と受取手形及び売掛金と商品及び製品の増加や固定資産の投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は763億２千万円となり、前連結会計年度に比べ11億２千１百万円増加しております。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.1ポイント減少し40.3%となりました。

（３） 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年11月４日発表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第１四半期連結会計期間より、新たに設立した高崎森永(株)（平成23年４月１日設立）を連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度において連結子会社であった森永フードサービス(株)は平成23年５月31日をもって当社保有全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４） 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。

3．四半期連結財務諸表
（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,992	7,050
受取手形及び売掛金	15,835	20,814
商品及び製品	5,439	6,885
仕掛品	402	484
原材料及び貯蔵品	4,646	4,828
繰延税金資産	1,874	1,679
その他	4,316	5,010
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	45,492	46,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,077	20,730
機械装置及び運搬具（純額）	10,233	11,693
土地	30,295	30,229
その他（純額）	4,895	3,242
有形固定資産合計	66,502	65,895
無形固定資産		
のれん	1,267	1,188
その他	470	473
無形固定資産合計	1,738	1,661
投資その他の資産		
投資有価証券	11,597	12,597
繰延税金資産	349	342
その他	1,448	1,319
貸倒引当金	△82	△62
投資その他の資産合計	13,311	14,196
固定資産合計	81,552	81,754
資産合計	127,045	128,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,033	16,793
短期借入金	806	20,682
未払金	7,993	9,596
未払法人税等	909	367
賞与引当金	2,001	1,000
その他	10,185	8,269
流動負債合計	34,930	56,709
固定負債		
長期借入金	23,141	3,071
繰延税金負債	2,326	2,260
退職給付引当金	6,754	6,553
役員退職慰労引当金	114	111
資産除去債務	121	123
受入敷金保証金	7,011	6,829
その他	799	661
固定負債合計	40,269	19,610
負債合計	75,199	76,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	16,470	16,178
自己株式	△2,458	△2,462
株主資本合計	49,811	49,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,082	2,981
繰延ヘッジ損益	5	△17
為替換算調整勘定	△544	△649
その他の包括利益累計額合計	1,543	2,315
少数株主持分	490	342
純資産合計	51,845	52,174
負債純資産合計	127,045	128,494

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	121,494	110,734
売上原価	62,946	56,919
売上総利益	58,548	53,815
販売費及び一般管理費	52,860	51,393
営業利益	5,688	2,421
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	303	316
持分法による投資利益	14	6
その他	290	405
営業外収益合計	614	735
営業外費用		
支払利息	220	203
その他	126	151
営業外費用合計	347	355
経常利益	5,955	2,801
特別利益		
固定資産売却益	221	18
関係会社株式売却益	－	978
貸倒引当金戻入額	7	－
その他	14	－
特別利益合計	243	997
特別損失		
固定資産除売却損	206	203
投資有価証券評価損	3	1,398
投資有価証券売却損	2	－
関係会社株式売却損	249	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	－
その他	2	－
特別損失合計	558	1,602
税金等調整前四半期純利益	5,640	2,196
法人税、住民税及び事業税	2,154	1,057
法人税等調整額	493	△103
法人税等合計	2,648	953
少数株主損益調整前四半期純利益	2,992	1,243
少数株主利益又は少数株主損失（△）	3	△29
四半期純利益	2,989	1,273

(四半期連結包括利益計算書)
(第３四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,992	1,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△593	912
繰延ヘッジ損益	△41	△22
為替換算調整勘定	△104	△177
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△13
その他の包括利益合計	△745	698
四半期包括利益	2,247	1,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288	2,044
少数株主に係る四半期包括利益	△41	△102

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位 百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	食料品製造	食料卸売及び飲食店	不動産及びサービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	104,075	14,590	2,366	121,032	462	121,494	－	121,494
セグメント間の内部売上高	2,181	826	90	3,098	739	3,838	△3,838	－
計	106,256	15,417	2,456	124,131	1,201	125,333	△3,838	121,494
セグメント利益	4,613	411	832	5,857	162	6,020	△332	5,688

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
２　セグメント利益の調整額 △332百万円には、セグメント間取引消去 101百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △242百万円、のれんの償却額 △102百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位 百万円）

	報告セグメント				その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	食料品製造	食料卸売及び飲食店	不動産及びサービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	101,349	6,637	2,284	110,271	463	110,734	－	110,734
セグメント間の内部売上高	1,004	471	237	1,713	646	2,359	△2,359	－
計	102,354	7,108	2,521	111,984	1,109	113,094	△2,359	110,734
セグメント利益	1,826	226	765	2,817	127	2,945	△524	2,421

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。
２　セグメント利益の調整額 △524百万円には、セグメント間取引消去 18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △437百万円、のれんの償却額 △79百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。
３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。